

世代をつなぐ林業

この山には、欽吾さんによって愛情こめて手入れされた、市場価値の高い木がたくさんあります。

しかし、昭和55年頃をピークに木材の価格は下がり、一番いいときと比べ、約5分の1の価格になったそうです。

欽吾さん「今は便利・コスト・スピード・豊かさを重視した社会ですやろ…林業は、40年、50年という長い時間のなかで、山を育てていかんならん。」

現在、欽吾さんの山林では皆伐は行わず、間伐材で収入を上げています。

欽吾さん「皆伐して、植林して、育てて、伐って…これが一番いい木材の循環です。」

林家にとって、皆伐はゼロからの出発であり、昔のように豊富な労働力や木材の需要がなければ、難しいのが現状です。

欽吾さん「ぼくらは、どういう山にしていこうというビジョンがある。20年後、ニッコリできる日が来ると思う。」

林業という産業は何世代にも渡って、継続して取り組んでいくことが、絶対の基盤なのです。



左：欽吾さん(62歳)、中：父・弘さん(95歳)、右：息子・智洋さん(31歳)。欽吾さんは「山の仕事の技術的なものは、おやじが10なら、ぼくが3、うちの息子は1なんや。」と話します。



森林のはたらき

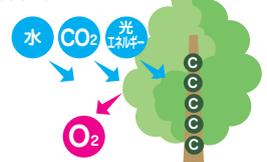
生活環境を快適にする

防風・防音・気温調節・水の浄化機能。

地球温暖化の抑制

光合成

光合成のしくみ



樹木は、空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素をはき出す光合成によって、炭素を樹木のなかに蓄えます。

野生動物のすみかになる

生物多様性保全機能。

水を蓄える

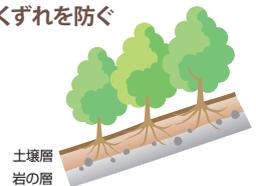
土壌はフカフカしたスポンジのような役割をして、水を蓄える。

安らぎ・憩いの場

森林浴・レクリエーションなど。

山くずれ・土砂流出を防ぐ

山くずれを防ぐ



土壌層
岩の層

地中の岩の層まで、根が張っている森林では、根が土壌層をしっかり固定し、支えているため、土砂崩れが起きにくくなります。

木材の生産

生産された木材は、私たちが利用する。

豊かな海を育む

森林の土壌から、わき出した水が川となって海へと栄養を運んでいく。